

令和3年新春

地藏様とあじさいの寺

光照寺だより

聖僧様の入寺に思う～坐禅の十徳～

11月に新たに僧形文殊菩薩像（聖僧様）を求めて大間西側に安置しました。聖僧様は坐禅修行者の護り仏ですので、坐禅の時には気が引き締まります。

禅僧の三大修行は、一に坐禅、二に作務、三に諷経（勤行）と言われていますが、私は今まで坐禅修行が足りなかったなあと反省しまして、聖僧様の入寺を機に坐る機会を増やそうと心がけています。

私の愛用のお経本の巻末に「坐禅の十徳」として、坐禅の功德が載せてあります。



聖僧様のとなりで坐禅する智玄さん
背筋が伸びていい姿勢です。

- | | |
|--|--|
| ① 邪念 <small>じゃねん</small> が起 <small>お</small> こらぬ | ② 五官 <small>ごかん</small> が静 <small>しず</small> まる |
| ③ 慈悲心 <small>じひしん</small> が起 <small>お</small> こる | ④ 外誘 <small>がいゆう</small> を受 <small>う</small> けぬ |
| ⑤ 物 <small>もの</small> に拘 <small>こ</small> らぬ | ⑥ 智慧 <small>ちえ</small> が <small>で</small> 出る |
| ⑦ 忍耐力 <small>にんたいりよく</small> が <small>で</small> 出る | ⑧ 心 <small>こころ</small> が清 <small>きよ</small> くなる |
| ⑨ 物 <small>もの</small> に驚 <small>おどろ</small> かぬ | ⑩ 信仰 <small>しんこう</small> が深 <small>ふか</small> まる |

とあるのですが、はたしてはたして……。達磨様のように坐禅修行に明け暮れた豪僧はそうなのでしょうが、私のような凡僧はとてもそんな実感はありません。強いて言えば少しだけ以前よりも⑩かな（年を取ったからかもしれない）。

この十徳は、それを得るために坐禅をするのではなく、坐禅を深めた結果そうなる（かもしれない）ということです。つまり坐禅は手段ではないのです。坐禅している姿こそが仏さまに近づいているということと受け止めて坐ることが肝要です。

（年頭の挨拶に代えて 方丈）

コロナ禍で

お寺の行持や法要の中止や変更を余儀なくされています。年始のご挨拶も出来ず、またおいでいただくことも叶わず、申し訳なく思っています。年始物は「盆まで年始」ということで、ご勘弁願います。

あじさい100種、全山1,000株



ダンスパーティー



レボリューション

先住様の三回忌

昨年の大般若会と併せて行う予定でしたができませんでしたので、規模縮小して11月6日に行いました。雲居寺方丈様を導師に護持会四役と山内で焼香いたしました。

数年前から増やしてきたあじさい。ようやく皆さんに見えていただけるほどになってきました。地元紙に紹介されたこともあり、昨シーズンは多くの方にご来山いただきました。ボランティア活動で定植していただき、株数も増えてきています。今年は大般若会をあじさいの時期にずらしました。お参りがてら見に来てください。

ご家庭に不要のローソク・線香がありましたら、お寺に寄付していただけませんか。四月の地藏講速夜の万灯供養に使わせていただきます。